

# 2020年度 自己評価

1. 教育理念・目標
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生の受け入れ募集
8. 財務
9. 法令等の遵守
10. 社会貢献・地域貢献

学校法人 澤田学園 松江総合医療専門学校

## 【評価項目の達成及び取組状況】

### 1. 教育理念・目標

評価項目	判定				備考
	4	3	2	1	
学校の教育理念・教育目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1	理念、教育目標等は学生便覧に掲載している。
学校における職業教育の特色は何か、明確になっているか	4	3	2	1	人間性、社会性、倫理性を備え対象者を支援することができる医療職になるための教育を行っている。学生便覧に明記されている。
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1	今後ますます少子高齢化していく現状を踏まえ、地域との連携も図りながら常に地域に貢献できる医療人を輩出する学校として検討を重ねている。
学校の教育理念・教育目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1	理念、教育目標等は学生便覧に掲載しており、在校生、保護者への周知はできていると考える（配布済み）。
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等の対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1	各学科とも業界との交流は積極的に行われているため現状に則した専門職の状況や求められるニーズは把握できていると考える。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

#### 1) 課題

理念、教育目標等は学生便覧に掲載しており、在校生、保護者への周知はできていると考える（配布済み）。

#### 2) 今後の改善方策

理念、教育目標等は入学時オリエンテーションで説明しているが、ホームページで公表も必要。入学時より国家試験問題に触れ、学習方法の指導、国家試験合格率の向上をはかる。学校の特色をより明確にする。

## 2. 学校運営

評価項目	判定				備考
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1	地域医療に貢献できる医療従事者を輩出するために医療機関等と連携しながら実践的な教育をめざすための運営方針が策定されている。
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	策定はされており、教員合同研修等で周知済み。
運営組織や意思決定機関(会議や委員会等)は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	③	2	1	運営組織や意思決定機関として理事会、運営会議を設置。また、分担し委員会を設置しており、定期的を開催している。
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1	就業規則に定められている。
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	様々なリスク発生時には迅速に対応できていると考える。今後はさらなるコンプライアンス強化・整備が必要と考える。
学校運営組織に外部人材が理事等として参画しているか	④	3	2	1	外部人材が理事参画している。
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	教育活動を学校ホームページで公開している。積極的に公開を行っている。
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1	学校内情報システムの整備はされている。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

様々な問題に対処できるよう、更にコンプライアンス体制の充実、予防が必要。  
 情報化の促進、業務の効率化が必要。情報に関する知識技術の習得。情報システム化などによる業務の効率化の為の工夫を検討。

### 2) 今後の改善方策

現在、コンプライアンス体制の整備（予防も含め）を行っている。  
 ICTを活用した学校運営のスムーズ化を目指す。

### 3. 教育活動

評価項目	判定				備考
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施は各学科にて行っている。
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は学生便覧、シラバス等で明確化されている。
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1	指定規則に基づき学科等のカリキュラムは体系的に編成されている。
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが計画・実施され、シラバス等にも明示されているか	4	3	2	1	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育が行われている。
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	授業アンケートを実施し授業評価を行っている。
職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1	実習指導者会議等で評価をいただく機会を設けている。
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確であり、GPA等の客観的指標が取り入れられているか	4	3	2	1	学則にて成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確にされており、情報公開している。
人材育成目標の達成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	指定規則に定められた資格要件の教員の確保はできている。今後も教員養成研修を積極的に受講していく。
実務経験のある教員を一定数確保しているか	4	3	2	1	実務経験のある教員を確保している。
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	実際に経験した分野の教員が教授している。また必要に応じて外部講師を依頼している。
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1	各業界の研修会には積極的な参加を推奨している。
教職員の能力開発のための研修等が行われているか(教員の臨床研修を含む)	4	3	2	1	教員研修会に参加しているが、個人差がある。内部の教員研修会を積極的に行う必要がある。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

## 1) 課題

国家試験対策について、更に検討必要である。  
教育実践力の向上のための研修会参加や、学会への参加を計画的に行う。  
臨床経験を学生に活かす工夫が必要である。

## 2) 今後の改善方策

国家試験対策の強化する。  
研修体制を整備し、学会、研修会への参加、内部研修会を行う。  
臨床現場や外部団体との連携した取り組みを行なっていく。

#### 4. 学修成果

評価項目	判定				備考
	4	3	2	1	
就職率の向上が図られているか	4	3	2	1	求人票を各学科に設置し、就職先の相談、履歴書指導、面接指導等を行っている。また、地元就職希望が多く、定住化にもつながっている。
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1	国家資格取得に向け、セミナー、特別講義、模擬試験、個別指導を行っている。
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1	学生面談、保護者面談、個別指導を行い、学生の希望が将来につながるように日々関わっている。そのことが退学率の低減につながっている。
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1	各学科学友会を有し、卒業生とも繋がりを持っているため、活躍はほぼ把握できている。在校生についてもボランティア活動、社会活動参加等、学外活動も把握するようにしている。
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1	学友会、実習地等で、卒業生とかかわる機会に把握しており、教育活動の改善に活用している。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

##### 1) 課題

卒業生のキャリア育成の効果を把握し積極的に教育に活かしていく必要があると考える。学業にしっかり向き合えるよう、学習意欲が低下しない取り組みが必要である。

##### 2) 今後の改善方策

卒業生とかかわる機会を定期的に設け（学友会）、キャリア教育の効果を確認し、学校教育に積極的に活かす。  
学習意欲の低下防止のため、個人面談、保護者との連携も強化し、学生を支援する。  
他学科との連携をとりながらスムーズな国家資格取得へ向けた工夫を行う。

## 5. 学生支援

評価項目	判定				備考
	4	3	2	1	
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	各学科で対応している。就職セミナーを行っている。履歴書指導、面接練習等を行う。
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1	相談室を設置し、いつでも相談できる体制を整備している。また、各学科の担当が相談面談を受け付けている。
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1	奨学金についても積極的に説明をしている。また学校独自の奨学金も充実させている。昨年度は学生支援基金を設立する。
学生の健康管理を担う体制はあるか	4	3	2	1	学生健康診断を年に一回行う。毎日検温、健康チェックを行う。また体調不良時のために保健室を確保している。
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	ボランティア活動、学友会研修会参加等推奨している。
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1	無料スクールバス、定期券代補助、無料駐車場等環境面のサポートを充実させている。学内には利用しやすい学生食堂や自動販売機など支援を行っている。
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1	定期的な保護者面談を実施したり、保護者連絡を行い、連携を深めている（学科によって差がある）
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1	卒業生への転職相談、職場相談を適宜行っている。
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	医療従事者としての将来像をイメージしながら、授業だけでなく学内生活すべてにおいて教育を行っている。看護学科においては、専門実践教育訓練給付金制度の指定を受けている。
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1	出前授業や職業人講話、職業教育の授業、学校ガイダンスにも積極的に参加している。また、本校の学校見学も受け入れている。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

## 1) 課題

卒業生に対する支援体制は学科により異なっている。  
校内のインターネット環境の強化。  
進路等、学生との対話や指導、支援をする時間の確保。

## 2) 今後の改善方策

卒後教育体制を整備し、より充実させる。  
学生相談の充実の為、臨床心理士の検討をする。  
インターネット環境の整備を行う。  
就職支援、学生相談の窓口の体制強化。



## 6. 教育環境

評価項目	判定				備考
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	指定規則に必要な設備は有している。また現場のニーズに応じて購入も行っている。学内実習や遠隔授業のための設備の充実を図る。
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1	指定規則で定められている実習時間数を実施している。学内実習環境も整備している。学外研修も医療現場がイメージしやすいよう工夫し実施している。
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1	防災マニュアルを整備している。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

<p>指定規則改正も加味し、施設・設備の更なる充実が必要。 建物、物品ともに老朽化が目立つ箇所がある。実習室、教室の配置。</p>
---

### 2) 今後の改善方策

<p>現在の医療現場に即した設備の充実を行う。 必要物品の更新。教室や実習室の利用方法の再検討。</p>
--

## 7. 学生の受け入れ募集

評価項目	判定				備考
学生の募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1	募集活動は職員と教員と連携し行っている。
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1	学生募集活動において、教育成果や就職について正確に伝えている。
学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1	学納金は妥当なものと考えている。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

学生募集について、高校訪問、オープンキャンパス、ガイダンス等を行っている。  
より多くの方にオープンキャンパスに参加いただけるよう更に内容検討する。

### 2) 今後の改善方策

積極的に web 広告や HP の拡充を図る。オープンキャンパスの内容を再検討する。

## 8. 財務

評価項目	判定				備考
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1	
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	適正に行われている。
財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1	情報公開体制整備ができている。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

学生確保。経費削減。
------------

### 2) 今後の改善方策

--

## 9. 法令等の遵守

評価項目	判定				備考
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	法令、専修学校基準等の遵守を常に意識し、運営にあたっている。
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1	個人情報保護に関する基本方針に基づき、個人情報保護を行っている。学生便覧にも明記している。職員についても規定に則り対策を講じている。
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1	問題点の改善について準備を進めている段階である。
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	ホームページにて情報公開している。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

### 2) 今後の改善方策

## 10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	判定				備考
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1	地域の健康フェスティバルを本校で行っている。また、駐車場や体育館も貸し出している。
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1	ボランティア活動を積極的に奨励している。
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	社会福祉協議会とも連携し、出前講習会等を行っている。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

### 2) 今後の改善方策